

事例紹介 最新の廃校活用の取り組み紹介

～ 九州・中国地区8事例より ～



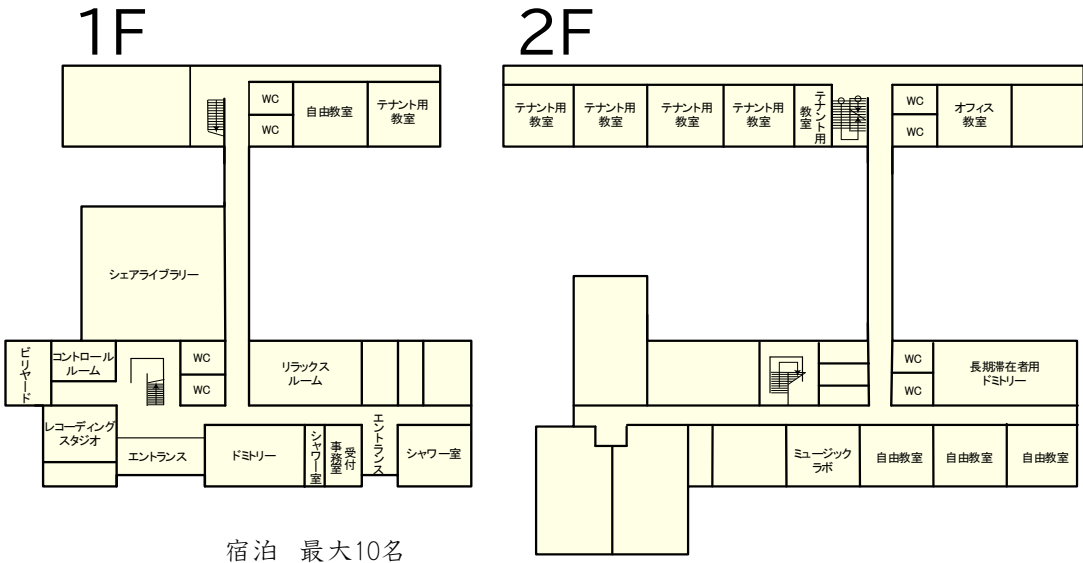
田川市芸術起業支援施設 いいかねPalette（旧猪位金小学校／福岡県田川市）



- 施設名 田川市芸術起業支援施設 いいかねPalette/旧猪位金小学校
- 所在地 福岡県田川市猪国2559
- 開設主体 田川市
- 運営主体 株式会社BOOK(市より土地建物を借受/運営権を設定)
- 事業目的 廃校を活用して「音楽を中心とするコンテンツ産業の創出・集積」を目指すプラットフォームです。人と人の「つながり」をつくることで人とアイデアの交流を促し、新たな産業を創出します。
- 業務内容 ●音楽を中心としたまちづくり事業、●コワーキングスペース事業、●オフィステナント事業、●音楽ビジネスマッチング事業、●施設の維持管理・保全業務等
- 施設概要 ◆校舎/RC二階建/延床面積3,518㎡/1983年築
- 施設整備 ◆施設改修/総事業費6,500万円/地方創生加速化交付金(内閣府)等/2016年度

【開設の経緯】

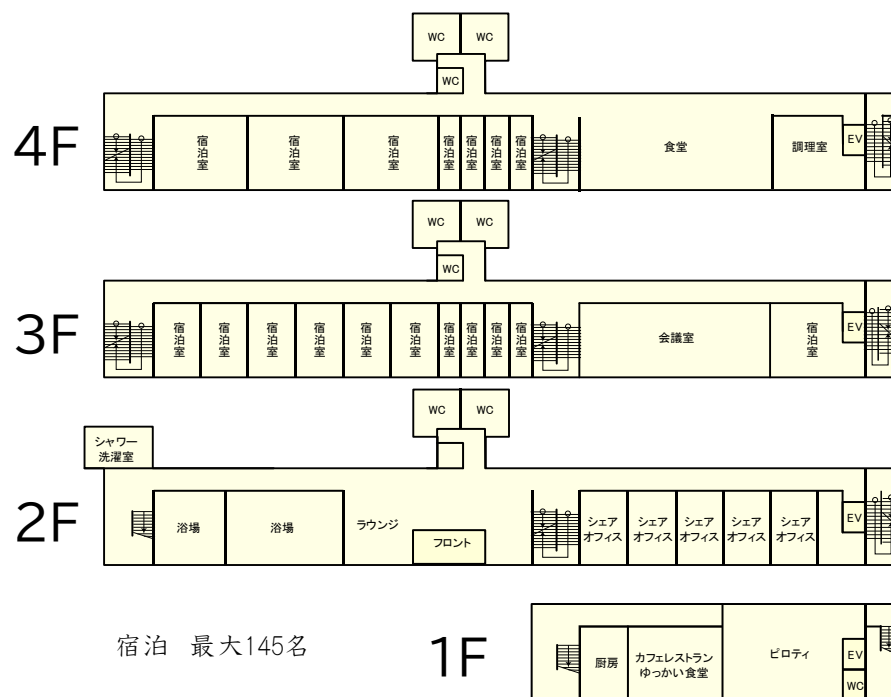
2014年	4月 猪位金小学校と猪位金中学校が統合し、小学校校舎閉校
2015年	3月 事業予算成立(次年度繰り越し)
2016年	4月 募集開始/応募資格を「維持管理・運営を行う企業」「改修設計を行う企業」「改修工事を行う企業」の共同体を構成することを条件とした 4月 株式会社BOOK設立 5月 1次審査(書類審査) 6月 選考会(プレゼンテーション)を一般公開で開催/同日、選考会会場にて事業者候補者を選定し発表 9月 地元説明会を開催 11月 改修工事着工
2017年	3月 改修工事竣工 4月 いいかねPaletteオープン 7月 「田川市芸術起業支援施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例」を制定 9月 株式会社BOOKに運営権を設定する議決 10月 「公共施設等運営権実施契約」締結/20年間の運営権を設定 11月 公共施設等運営権設定の登録(内閣府)



佐賀市富士地域振興センター SAGA FURUYU CAMP（旧富士小学校／佐賀県佐賀市）



- 施設名 佐賀市富士地域振興センター SAGA FURUYU CAMP/旧富士小学校
- 所在地 佐賀市富士町大字古湯898
- 開設主体 佐賀市
- 設置目的 人々に憩いと交流の場を提供するとともに、山間地域の豊かな資源を活用した地場産業の生産性の向上及び地域間交流の促進を図り、もって佐賀市富士町の地域の振興に資するため、本市に富士地域振興センターを設置する
- 運営主体 株式会社佐賀古湯キャンプ(指定管理者)
- 事業内容 ●施設の利用に関する業務(宿泊・食事・オフィス等の提供)、●施設及び設備の維持管理に関する業務等
- 施設概要 ◆校舎/RC四階建/延床面積2,376㎡/1974年築
- 施設整備 ◆校舎改修/事業費7億5,000万円/地方創生拠点整備交付金(内閣府市)等/2018～2019年度



【開設の経緯】

2012年	・8月 跡地活用に関する地元検討会発足
2013年	・3月 富士小学校が廃校となる
2016年	・3月 地元検討会から市へ最終報告 ・10月 市にて跡地活用計画案を策定
2017年	・5月 富士小学校跡地設計・管理運営業務委託に関する公募プロポーザルを実施 ・7月 公募プロポーザル事業者を選定 ・9月 住民説明会開催
2018年	・3月 富士小学校跡地活用基本構想を策定 ・8月 地方創生拠点整備交付金の交付決定 ・12月 改修工事着工
2019年	・11月 株式会社佐賀古湯キャンプ設立
2020年	・4月 佐賀市富士地域振興センターオープン ・8月 佐賀市富士地域振興センターを拠点とした地域共働事業の連携協定

うましき里きららの楽校（旧白男川小学校／鹿児島県さつま町）

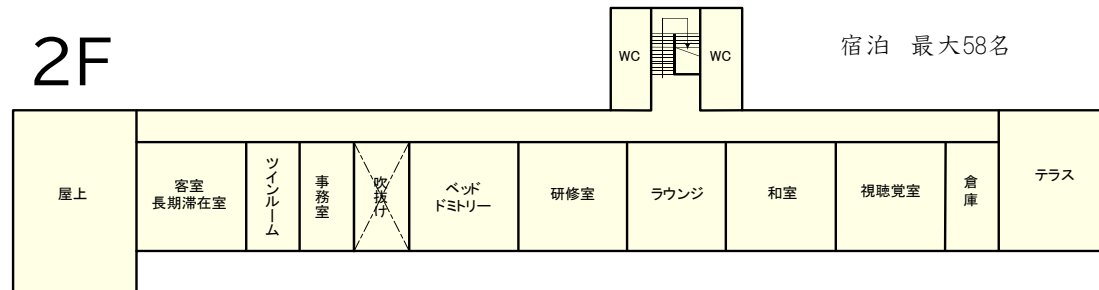


- 施設名 うましき里きららの楽校/旧白男川小学校
- 所在地 鹿児島県薩摩郡さつま町白男川1501-1
- 開設主体 さつま町
- 設置目的 地域住民の様々な活動に応じたコミュニティの場，都市農村交流及びスポーツ合宿等を推進しながら，地域の活性化に資する
- 運営主体 うましき里きらら協議会(指定管理者)
- 事業内容 ●運営に関する業務、●施設及び設備)の維持管理に関する業務、●施設等の利用の許可に関する業務、●地域住民の交流に関する業務、●都市農村交流に関する業務、●スポーツ合宿等の受入れに関する業務、●施設等の利用に係る料金に関する業務
- 施設概要 ◆校舎/RC二階建/延床面積1,368㎡/1986年築
- 施設整備 ◆総事業費1億3,156万円/集落活性化推進事業(国土交通省)等/2018年度

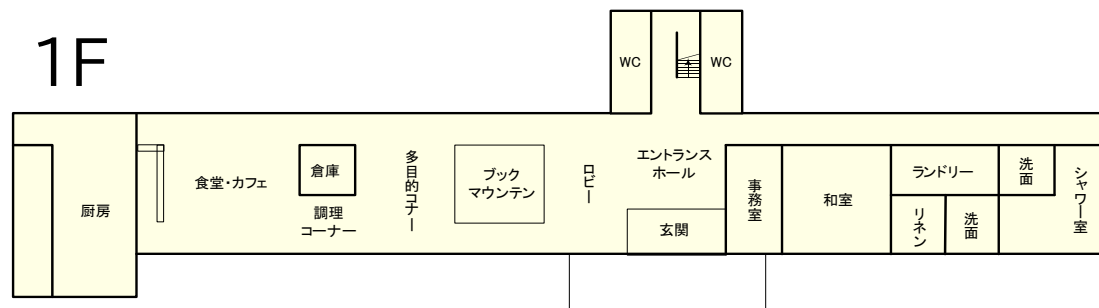
【開設の経緯】

2016年	・3月 白男川小学校閉校 ・5月 跡地利活用について町と第一工業大学による検討ワークショップ開始
2017年	・3月 基本構想がまとまり，白男川地区住民を中心に「跡地利活用検討会」発足 ・10月 町へ跡地利活用に関する報告書提出
2018年	・2月 施設改修工事設計業務発注 ・9月 施設改修工事着工 ・10月 「うましき里きらら協議会」発足
2019年	・4月 「うましき里きららの楽校」オープン

2F



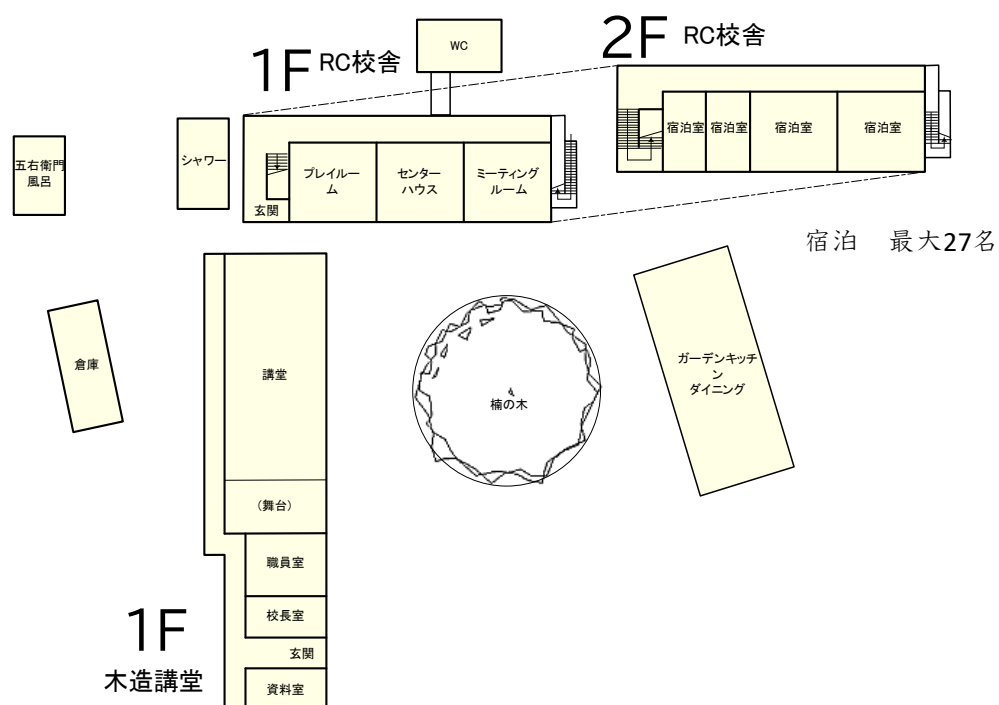
1F



リバーバンク森の学校（旧長谷小学校／鹿児島県南九州市）



- 施設名 リバーバンク森の学校/旧長谷小学校
- 所在地 鹿児島県南九州市川辺町本別府3728-2
- 開設主体 高田地区公民館高田みらいづくり部会(市より土地・建物を借り受け)、一般社団法人リバーバンク(施設の管理運営)
- 設置目的 未来に向けて地域資源を活用していくことで、新しい地域のありかたを模索し、地域内外のひとびとと手を取りあいもう一つの暮らしの選択肢を創っていく
- 事業内容 ●廃校活用(リバーバンク森の学校の管理運営/体験・宿泊・施設の貸出等)、●空き家活用(空き家の調査及び施設の改修、新規移住定住者の掘り起こしと獲得)、●資源活用
- 施設概要 ◆RC校舎/RC二階建/延床面積493㎡/1974年築、◆木造講堂/木造平屋建/延床面積411㎡/1935年築
- 施設整備 ◆施設改修・野外施設・インフラ等整備/総事業費3,275万円/地方創生推進交付金(内閣府)等/2018年度



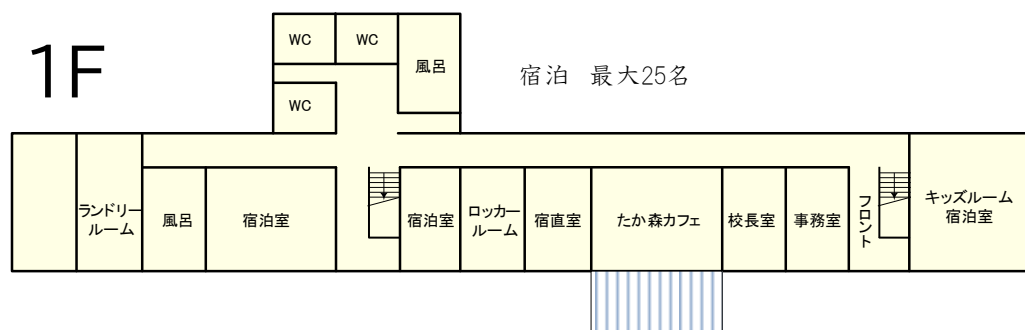
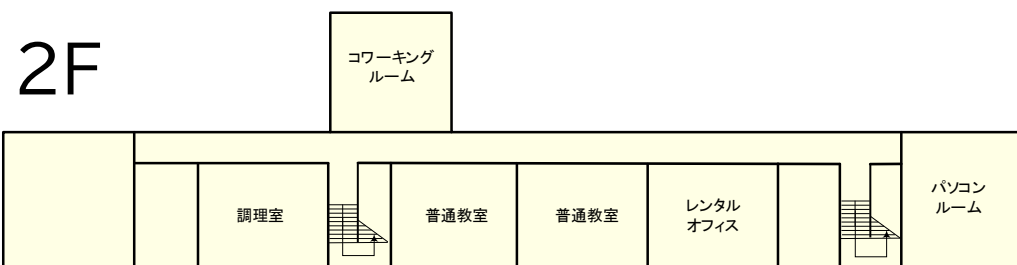
【開設の経緯】

1990年	・3月 長谷小学校が閉校 ・地域住民が主体となり施設を維持管理
2016年	・建物の老朽化と耐震上の問題、市の財政難などの理由に伴う旧長谷小学校の閉鎖が浮上 ・旧長谷小学校の保存とともに空き家活用などの地域課題の解決に向け、「森と水のくらしプロジェクト」という任意団体を設立し、検討を始める
2017年	・8月 夏の「グッドネイバーズ・ジャンボリー」の開催とともに、「川辺・高田校区探索ツアー」を開催 ・行政との協議を進める中で、官民が連携して地域課題を解決する方向性を見出す
2018年	・3月 地域再生計画認定 ・7月 一般社団法人リバーバンクを設立、 ・11月 リバーバンク森の学校がオープン

たからべ森の学校（旧財部北中学校／鹿児島県曾於市）



- 施設名 たからべ森の学校/旧財部北中学校
- 所在地 鹿児島県曾於市財部町北俣5410-1
- 開設主体 有限会社サイバーウェーブ(市より土地建物を借り受け)
- 事業目的 思い出の詰まった学校をなるべくそのままの形で活用し、再就職を目的とした職業訓練施設を開校するとともに、アナログ体験＋学校に泊まり、忘れられない思い出を演出する学校体験型宿泊施設を運営する
- 事業内容
 - 職業訓練施設運営事業(たからべ森の学校での農業人材育成科・農産加工販売科・調理補助者育成科の開設)、●地域活性化事業(たからべ森の学校での宿泊・飲食・施設利用等の提供、農業＆田舎ぐら体験の提供)、●Web制作事業
- 施設概要
 - ◆校舎/RC二階建/延床面積1,371㎡/1980年築
 - ◆事業費500万円/有限会社サイバーウェーブ/2013・2016年度
 - ◆宿泊改修/事業費7,438万円/地方創生拠点整備交付金(内閣府)等/2017年度
 - ◆コワーキングスペース等改修/事業費341万円/企業誘致・企業創業促進対策事業(曾於市)/2019年度
- 施設整備



【開設の経緯】

2011年	・11月 曾於市閉校施設等活用基本方針の策定
2012年	・3月 財部北中学校が閉校 ・4月 曾於市閉校施設(旧財部北中学校等)に係る活用利用団体を募集
2013年	・1月 旧財部北中学校の利用団体として有限会社サイバーウェーブを選定 ・3月 曾於市と有限会社サイバーウェーブとの間で立地協定を締結 ・5月 たからべ森の学校を開設 ・7月 公共職業訓練「農業人材育成科」を開講
2015年	・5月 公共職業訓練「調理加工科」を開講
2016年	・12月 元職員室を改装し、たか森カフェをオープン
2018年	・5月 校舎二階を改装し、たからべ森の学校星の宿(学校体験型宿泊施設)をオープン
2019年	・7月 合同会社財の森を設立 ・9月 コワーキングスペースROOM54101をオープン

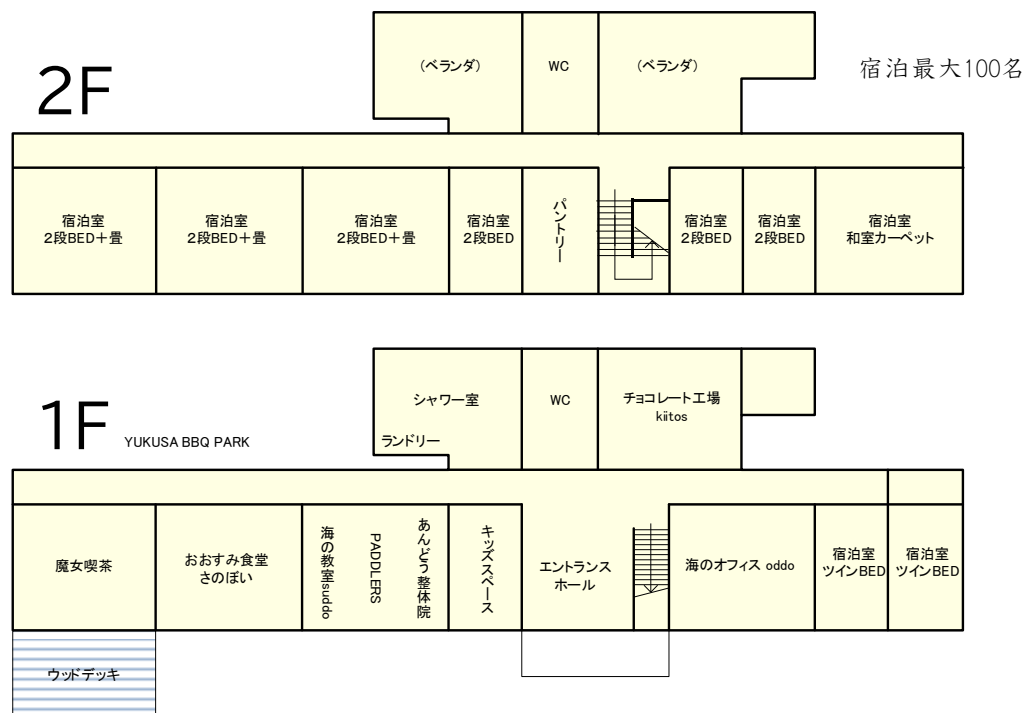
ユクサおおすみ海の学校（旧菅原小学校／鹿児島県鹿屋市）



- 施設名 ユクサおおすみ海の学校/旧菅原小学校
- 所在地 鹿児島県鹿屋市天神町3629-1
- 開設主体 株式会社Katasudde(市より土地・建物を借り受け)
- 設置目的 錦江湾を望む恵まれたロケーションを活かし、自然を五感で感じる体験プログラムを実施し、地域の魅力発信を行うことで「いつでも訪れやすいまち」の実現と共に周辺地域の再生に貢献する
- 事業内容 ●ユクサおおすみ海の学校の管理運営(宿泊の提供、飲食の提供、教室のサプリース等)
- 施設概要 ◆校舎/RC二階建/延床面積1,219㎡/1976年築
- 施設整備 ◆基本性能回復工事(外壁修繕、防水補修、浄化槽工事、電気工事等)/総事業費3,625万円/地方創生拠点整備交付金(内閣府)等/2017年度
◆校舎改修・外構・設備工事等約7,000万円/株式会社Katasudde/2018年度
◆民間都市開発推進機構による出資1500万円、鹿児島銀行及び日本政策金融公庫による協調融資/2018年度

【開設の経緯】

2013年	・3月 菅原小学校廃校
2016年	・2月 菅原小学校跡地利活用事業に関する公募を実施 ・12月 株式会社Katasuddeを設立
2017年	・2月 地域再生計画(旧菅原小学校跡地利活用による地域活性化計画)認定 ・7月 菅原小学校跡地利活用事業に関する基本協定を締結 ・10月 基本性能回復工事着工(鹿屋市)
2018年	・2月 施設改修工事着工(株式会社Katasudde) ・3月 民間都市再生整備事業計画(国土交通省)認定 ・5月 クラウドファンディングを実施 ・7月 ユクサおおすみ海の学校オープン(宿泊・レストラン等)
2020年	・7月 ユクサおおすみ海の学校リニューアルオープン(シェアオフィス、各種店舗等)

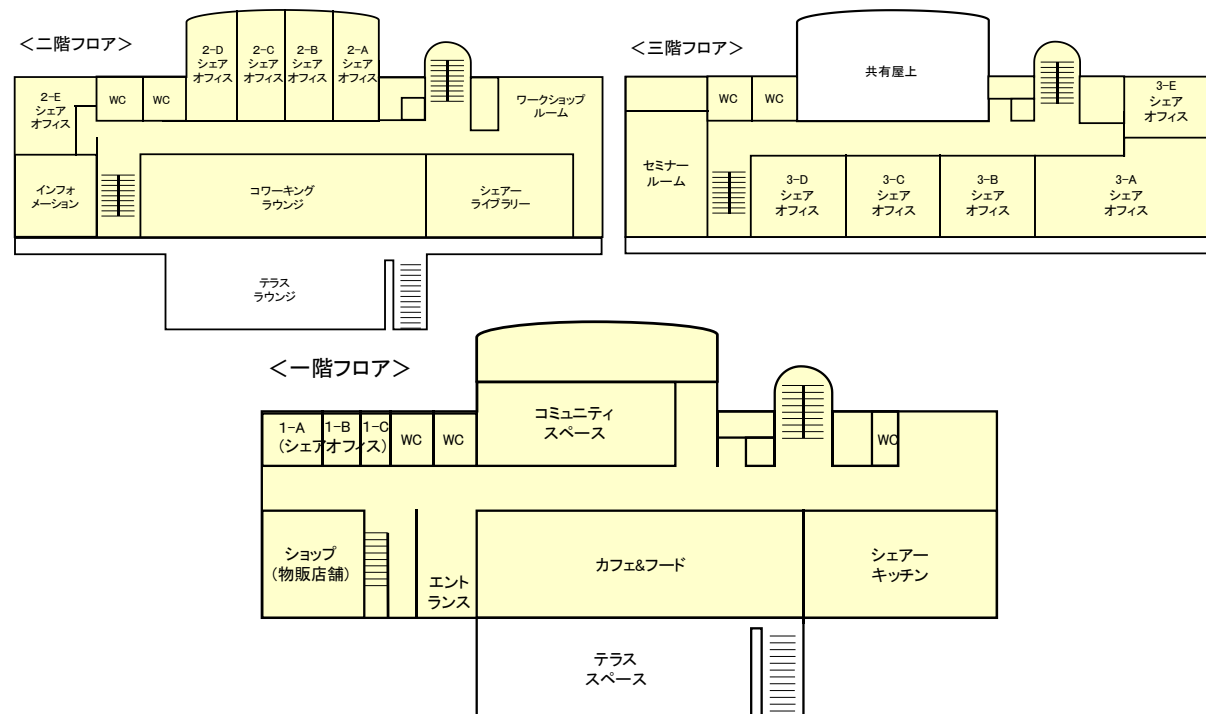


隼Lab.（旧隼小学校／鳥取県八頭町）



- 施設名 隼Lab./旧隼小学校
- 所在地 鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-2
- 開設主体 八頭町
- 設置目的 シェアオフィスやコワーキングスペースとともに、カフェや地域の交流スペース等を設け、ビジネスの拠点かつ地域住民の交流拠点とする。多様な入居企業同士の協業、地域住民の参加を促し、また外部イノベーターも巻き込むことで、隼Lab.を含むまち全体を、地域課題の解決や新たな産業・雇用を創出する場に変革していく
- 運営主体 株式会社シーセブンハヤブサ(八頭町より土地・建物を借り受け)
- 事業内容 ●隼Lab.の管理運営、●地域活性化に関する事業、●ベンチャービジネスに対する各種支援、●各種イベントの企画、●製作・管理・運営及びコンサルタント事業等
- 施設概要 ◆校舎/RC造3階建て/述べ床面積3,358㎡/1983年築
- 施設整備 ◆総事業費17,000万円/地方創生拠点整備交付金(内閣府)/2017年度

【開設の経緯】



2015年	・4月 八頭町総合戦略の策定に向け、「八頭町地方創生推進本部」を設置するとともに、産業界・行政・教育機関・金融機関・労働局・マスコミに加え女性団体や福祉関係者、移住者など幅広い関係者が参画し「八頭町総合戦略策定委員会」を設置する ・9月 八頭町総合戦略を策定。廃校となった学校の跡地など町内の空き施設を活用し、情報関係企業等のサテライトオフィスとして活用し、新たな雇用の場の創出や起業家が活用するまちを目指す
2016年	・7月 まちづくり事業会社設立準備委員会を発足、事業参画を検討する企業や地域金融機関と具体的な事業運営方法、事業内容等の検討を開始 ・9月 参入予定企業が事業促進を応援するパネルディスカッションイベントを開催 ・11月 参入予定の町出身の企業上場経験者を講師とした起業機運を醸成するセミナーを開催 ・12月 地域再生計画「イノベーター創造地域創出事業」が認定される
2017年	・3月 隼小学校が閉校 ・4月 民間企業7社が出資し、「株式会社シーセブンハヤブサ」を設立する ・5月 Lab. (旧隼小学校校舎)の施設整備を着工 ・12月 隼Lab.オープン

OOE VALLEY STAY（旧大江小学校／鳥取県八頭町）



- 施設名 OOE VALLEY STAY/旧大江小学校
- 所在地 鳥取県八頭郡八頭町下野331
- 開設主体 有限会社ひよこカンパニー(町より土地・建物を借り受け)
- 設置目的 緑豊かな山々に囲まれ、清流も流れる稀有な自然環境を有する場所にある大江ノ郷リゾート内に、閉校になった小学校を宿泊施設として蘇らせたのがOOE VALLEY STAY。ここにしかない大江の豊かな自然や食文化を楽しめるとともに、ここから鳥取のあらゆる魅力を体験し尽くせる旅の拠点です
- 事業内容 ●宿泊の提供、●食事の提供、●体験の提供等
- 施設概要 ◆校舎/RC三階建/延床面積1,693㎡
- 施設整備 ◆総事業費約3億円/自己資金＋農山漁村振興交付金(農林水産省)/2018年度

【開設の経緯】

1994年	・放し飼い養鶏の夢を実現するため「大江ノ郷自然牧場」を創業
2000年	・農業生産法人「有限会社ひよこカンパニー」を設立
2008年	・牧場スイーツ専門店「ココガーデン」をオープン
2016年	・食と農を楽しむ複合型施設「大江ノ郷ヴィレッジ」をオープン
2017年	・3月 大江小学校が閉校となる
2018年	・7月 旧大江小学校を貸付
2019年	・7月 OOE VALLEY STAYをオープン

